



# 学校だより

『元気な仲間たのしい学校』  
河内長野市立美加の台小学校  
TEL 62-2468

7月号  
平成25年7月1日  
発行

美加の台小学校ホームページ アクセスナンバー

→ <http://www.mockle.net/Mikanodai-new/>

## 言葉の力

校長 藤井 学



梅雨入り宣言があつてから全く雨の降らない日が続き、水不足が心配されていきました。しかし、一転して6月下旬には、激しい雨が降り今度は、大雨が心配になるほどでした。そして、あつという間に7月です。早いもので新年度がはじまり、3ヶ月が過ぎ1学期も残すところあと少しになりました。7月は、学期のまとめに入り、やるべき事も

多くありますが、健康に留意して元気に登校してほしいです。

さて、4月から各種団体の総会等の会合に参加して、本校児童の事をお聞きする機会があり、子どもとの関わりのお話をいくつか聞かせて頂きました。その一つに、老人会の方のお話がありました。デイリーカナートの歩道橋の下で、清掃活動をしているとき、校区探検に出ていた2年生の児童が通りかかり、手を振ったり、挨拶をしたり、励ましのような言葉をかけたそうです。そのことが、会員何人もが喜びを感じ、とても嬉しかったとお聞きしました。今までに、学校に来て頂き、昔の遊びを教えて頂く活動をしたり、運動会で簡単な競技を一緒に行ったり、朝の登校でお会いすることがあればあいさつをするなど様々な活動がこのことに関係しているように思います。様々な活動が、親しみを持って接する行動に繋がっていったと思います。そして、出た言葉、声かけが相手の方の励みになる言葉になったようです。また、検診の時のお医者さんに「ここの学校の子どもたちは、みんなきちんとあいさつしてくれるので、とても気持ちがいいです。」という言葉を受けました。「お願いします。」や「ありがとうございました。」の言葉が相手に対して、好印象を与え、親しみもあらわれるものだと感じました。

二つの良いことがありましたが、毎日の学校生活の中では、乱暴な言葉が飛び交っていることもあります。何気ない言葉が相手を傷つけることがあることも含めて毎日の生活の中で、注意できる子にしていきたいと思います。これからもあいさつを基本にしながらい「言葉の力」の大切さを話していきたいと考えています。

## ○「子ども安全サポート」全体会

6月23日(日)に、本校体育館で標記全体会が開催されました。これには、「子ども安全サポート」に登録していただいている皆様をはじめ、美加の台小・中学校のPTA並びに地域協議会・河内長野防犯協議会美加の台支部・本校コミュニティスクールの皆様が参加されました。

はじめにPTA見守り隊の取組みや安全サポート活動について説明があった後、参加された皆様が3つの地区に



分かれて、通学道路の危険箇所や不審者情報などについて、美加の台マップにシールと付箋を使って書き込んでいきました。その後、各地区の情報を全体で交流し合いました。

今後も、地域の安全に関する情報を共有するとともに、子どもたちに危険箇所を知らせ、子どもたちが自らの安全をより意識していくよう働きかけていく必要があると確認しました。

## ○校内研修 国語科研究授業（第4学年）

本校では、平成19年度より、「相手の思いを聞き、自分の思いを伝える力（コミュニケーション能力）の育成をめざして」という研究主題のもと、国語科を中心として3年間、授業改善のためのICT機器の活用を中心として2年間、それぞれ研究を進めてきました。

さらに、昨年度より「自分の思いを書いて表現しよう」という具体的目標を立て、国語科を中心として、①授業改善の方向性、②国語科の書く領域の洗い出しと内容の系統性の見直し、③指導案の形式及びその内容、の3点について研究をしています。

6月25日(火)には、今年度1回目の研究授業を4年2組で行いました。国語科教科書の「一つの花」の学習を通して、自分の考えたことをまとめ、文章にあらわすことを目標に授業を設定しました。子どもたちは、書くことに対して意欲的に取り組み、深い読み取りをする子どもも見られました。授業の後には、発問の仕方や書かせる内容の明確化などについて討議をしました。

今後は、11月に1年、1月に5年の研究授業を実施する予定です。また、毎月1回、作文タイムを設け、詩や日記・生活文・読書感想文に取り組んでいます。その成果として、児童朝会で各組より作文の発表を行っています。



## ○地区委員の方がかわりました

C地区の大北公子様が転居されましたので、6月12日より久保田訓子様（3-1）に地区委員をしていただいています。どうぞよろしくお願ひします。